

「とんぼ」

いよいよ小中合同運動会の日が迫ってきました。天候が心配ですが、恵みの雨として受け止めています。

さて、運動会では、入退場や競技中、ダンスにはさまざまな曲がBGMとして使われます。最近是我的知らない流行の曲ばかりですが…。

しかし、その中でも、私の好きなミュージシャンの曲が流れると、思わず校長室の窓から口ずさみながら練習の様子を眺めています。



さらに、帰宅後にアルバム曲を聴き、昭和の時代を懐かしく思い出しているこの頃です。

♪ とんぼよ～ どこへ お前は～ どこへ飛んでいく～♪



実は、この一節が、ある朝の校内の出来事と重なりました。

「こうちょうせんせいー!!ヤゴがとんぼになったよー!!」と、朝教室を回ると、子供たちが知らせてくれました。

そこには、水槽をのぞき込む子供たち。

一躍スターとなった一匹のトンボですが、周りの賑やかさとは対極に静かに羽を休めていました。夜のうちに羽化を終えたその姿には、どこか誇らしさと慎ましさが同居していました。



このスターは、先日までプールの中で暮らしていたヤゴでした。水泳指導が始まるので、ヤゴ救出作戦が展開され、その時に、救い出された一匹のヤゴでした。その後は、子供たちが水槽で大切に育てていました。救い出すことができた、たった一匹の命。事務室の職員が内地から取り寄せてくれた貴重な赤虫をエサにしなが、少しずつ力を蓄え、ついに夜明けとともに羽化を迎えたのでした。タブレットで写真を撮ったり、図鑑を片手に観察したり、友達と感動を分かち合ったり…。まさに、生きた学びの瞬間でした。

また、そんな日常の中で、一年生たちは学校探検で校長室にもやってきました。

「これ、なんですか?」「勝ったらもらえるの?」「思ったより軽い!!」と、自由な発想と元気な声が飛び交い、校長室が一気ににぎやかになりました。特に目を引いたのは、運動会の優勝杯。ピカピカに光るトロフィーに、子供たちの夢が重なっていきます。



本校では、日々のちょっとした出会いや気付きの中にこそ、豊かな学びの芽があると考えています。自然に触れ、人に学び、自分の目で確かめ、自分の言葉で語る。そうした経験の積み重ねが、未来へと羽ばたく力になると信じています。



夜明け前に羽化した一匹のトンボが、子供たちの心にまいた小さな種。やがてそれぞれの空へと羽ばたく日が、きっとやってくるでしょう。

島の宝は、今日も小さな背中に夢をのせて、未来という学び 舎へ GO!!